

# Community care of Children with disabilities

## フィリピン・スタディツアー

### 山岳地帯のしょうがい児自立を支援するコミュニティケア研修

研修先：ベンゲット州バギオ市&カバヤン町

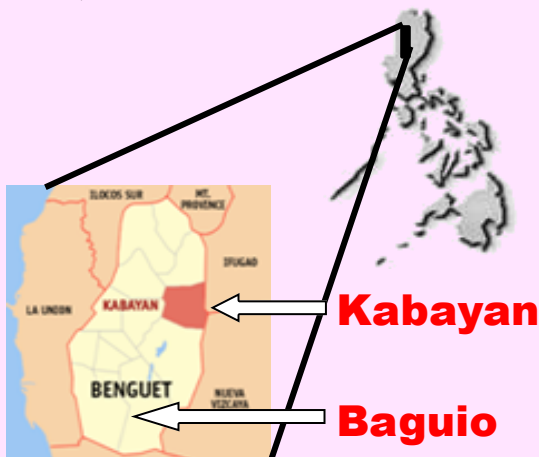
2010年9月13日(月)～21日(火) 8泊9日



スタディツアーの訪問先は、ルソン島中部山岳部の中核都市バギオ市と山奥のカバヤン町。

主な滞在先のベンゲット州カバヤン町は、標高1,500m、2,560世帯、約13,000人の人々が暮らす一見のどかな山里です。住民の多くは山の民イバロイ族。飲料水は山の清水、谷には棚田と段々畑、洞窟にはミイラ群、赤米、レモングラス、トビネズミなど希少動植物の生息する地域です。ここに住むしょうがいのある人たちは、どのような暮らしをしているのでしょうか。ダートな道、勾配のきつい生活圏、社会資源も限られています。

カバヤン町では、しょうがい児宅にホームステイし、子どもたちの介助や介護をしながら生活実態を体感します。また、JPComが推進しているしょうがい児の暮らし全体支援する取り組みや、自治体・住民との協働関係作りなどコミュニティ・ケアの現場で共に学び合い、しょうがい児や家族が抱える地域生活課題を知り、その解決への取り組みを実感していただきます。



#### 主な内容

- カバヤン町：ホームステイ、町長や社会福祉開発事務所表敬、ケアセンターでの療育セッションなど
- バギオ市：リハビリテーションセンターやその利用者との交流。市内散策

参加費：135,000円 (JPCom会員130,000円)

内訳：関西空港⇄マニラ往復費用一式、全宿泊費、比国内移動交通費、食費（一部自己負担）、賛助会費、海外旅行傷害保険加入料、交流等のプログラム費、その他

定員：15人（最低遂行人員10人）

申込期限：8月12日（木） その後も空き定員があれば受け付け

#### 主催・共催

特定非営利活動法人 み・らいず  
市民による国際協力団体 JPCom

お申し込み・問合せは、JPComまで

〒536-0014 大阪市城東区鳴野西4-9-17-902

TEL：090-1071-9716

FAX：06-6964-3399

E-mail：jpcom@jpcom.info

HP：http://www.jpcom.info/

ブログ：http://hidefumi.blog.ocn.ne.jp/001/



# フィリピンスタディツアー募集要項

スタディツアーは、山岳地帯のしょうがい児自立を支援するコミュニティ・ケアの現場に学ぶ研修です。JPComがフィリピン山岳部地帯で進めるしょうがいのある子どもたちと保護者の自立生活支援事業の現場を訪問します。子どもたちや彼らを支える保護者、周辺の人たちと交流しながら、フィリピンのしょうがい児・者を取り巻く社会状況を知り、国や文化、人種を越えた相互支援関係をつくって下さい。

●期 間:2010年9月13日(月)～21日(火)、8泊9日

●プログラム:前半:2008年初めからカバヤン町でスタートしたしょうがい児や保護者と進めている自立生活に向けたプロジェクトへの参加。しょうがい児宅でのホームステイ  
後半:バギオ市でJPComが運営しているのしょうがい児リハビリテーションセンター訪問センター利用児童と保護者会との交流&懇談、ソーシャルワーカーやケアワーカーとの交流&懇談など

●研 修 先:ルソン島中部のバギオ市、ベンゲット州カバヤン町

Day	Activity
9月13日	関西空港発フィリピン航空PR407→マニラ国際空港着 空港→バギオ市(専用車)、バギオ市到着、ホテル・チェックイン
9月14日	★JPComしょうがい児の療育セッション見学(バギオ市内) バギオ市→カバヤン町(バス)、Coop Lodgeへチェックイン ★現地オリエンテーション
9月15日	★表敬訪問:町長(Mayor Aquisan)、町社会福祉開発事務所職員表敬訪問 ★各自ホストファミリーとしょうがい児宅へ
9月16日	★ステイ先のしょうがい児の状況によって:学校へ通学ガイド、Ajuwan Therapeutic Centerへ通所、自宅周辺で過ごす
9月17日	★交流プログラム、参加者の出し物 Ajuwan Therapeutic Center ★ホームステイ体験等のシェアリング ★夕食交流会:地域の関係者と
9月18日	カバヤン町→バギオ市(バス)、到着後自由時間 ★夕食スタッフとの交流会
9月19日	★STAC5(しょうがい児リハビリテーションセンター)のしょうがい児・家族と交流、水遊び、ピクニック。市内散策、買物他
9月20日	バギオ市→マニラ(バス)、マニラ着 ホテル・チェックイン、夕食
9月21日	マニラ国際PR407便→関西空港着

※このツアースケジュールは気象状況他の影響を受けた場合、変更が生じる場合もあります。

## ●お申込み、お問い合わせ

所定の申込み用紙に必要徐行を記入の上、JPCom事務局まで、Eメール、ファックスでお送り下さい。(表面の連絡先をご覧ください)。申込み用紙はJPComのホームページからダウンロードできます。後日参加者のしおりをお送りします。

●その他:有効期間が6ヶ月以上あるパスポートが必要です。15才未満の方はフィリピンの法律規制がありますので別に手続き(費用も発生します)が必要です。現地集合・現地解散の希望についてはご相談下さい。

●参加費振込先:1、銀行振込 リそな銀行 京阪京橋支店 普通:4091597

名義:JPCom事務局長栗原英文(ジェイピーコム ジムキョクチョウ クワハラヒデフミ)

2、郵便為替 番号00910-0-179559 加入者:JPCom

※参加費全額を、2010年8月31日までに上記いずれかの口座に振り込んでください。

み・らいずは、障害者の地域での生活をサポートする特定非営利活動法人です。2003年に制定された支援費制度に基づく居宅介護事業所として 障害を持つ人々の日常生活・余暇支援・家族支援を行なっています。

JPComは、市民による国際協力団体です。『コミュニティ・エンパワメント』と『コミュニティ・ケア』を柱に、経済的貧困状態にある村の住民の暮らしを支える「仕事づくり」や「自由な交流から生まれる市民事業」を支援し、しょうがいのあることで不利益を被る可能性のある子どもたちの成長を「地域住民、保護者、専門職、自治体他」と共にサポートする事業を推進しています。